

シラバス

法人名： 社会福祉法人城ヶ崎いこいの里

科目名	職務の理解
目標	●研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。
修了時評価ポイント	
項目	内容
多様なサービスと理解	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険導入の経緯と意義 ・介護保険制度におけるサービス等の種類 ・介護の業務について ・キャリアパスと介護職員初任者研修 ・映像教材を使用した職務の理解
介護職の仕事内容や働く現場の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、居宅サービスの多様な現場の理解 ・施設、居宅サービスの多様な仕事内容の理解 ・施設、居宅の実際のサービス提供現場の理解 ・地域の社会資源との連携

シラバス

法人名： 社会福祉法人城ヶ崎いこいの里

科 目 名	介護における尊厳の保持・自立支援
目 標	●介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。
修了時評価ポイント	1. 介護の目標や展開について、尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説できる。 2. 虐待の定義、身体拘束、およびサービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護についての基本的なポイントを列挙できる。
項 目	内 容
(1)人権と尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> ・人権と尊厳の保持 ・ノーマライゼーションの意義 ・個人の尊厳と法制度 ・人権擁護の基本視点 ・虐待防止、身体拘束の禁止 ・利用者の尊厳の保持
(2)自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の基本視点 ・サービス提供の基本視点 ・介護予防の考え方、重度化予防

シラバス

法人名： 社会福祉法人城ヶ崎いこいの里

科目名	介護の基本
目 標	<p>●介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。</p> <p>●介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができる。</p>
修了時評価ポイント	<p>1. 介護の目指す基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について列挙できる。</p> <p>2. 介護職として共通の基本的な役割とサービスごとの特性、医療・看護との連携の必要性について列挙できる。</p> <p>3. 介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点について、ポイントを列挙できる。</p> <p>4. 生活支援の場では出遭う典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを列挙できる。</p> <p>5. 介護職に起こりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点等を列挙できる。</p>
項 目	内 容
(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴の理解 ・地域包括ケアの方向性 ・介護の専門性 ・介護にかかわる職種
(2)介護職の職業倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの公共性と職業倫理 ・社会に対する責任 ・介護福祉士の倫理と介護福祉士制度
(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・介護における安全の確保 ・自己予防安全対策、リスクマネジメント ・感染症対策のための基本的知識
(4)介護職の安全	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理とリスクマネジメント ・腰痛の予防に関する知識 ・介護職の労働の権利と労働法

シラバス

法人名： 社会福祉法人城ヶ崎いこいの里

科目名	介護・福祉サービスの理解と医療との連携
目標	●介護保険制度や障害者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。
修了時評価ポイント	<p>1. 生活全体の支援の中で介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について列挙できる。</p> <p>2. 介護保険制度や障害者総合支援制度の理念、介護保険制度の財源構成と保険料負担の大枠について列挙できる。</p> <p>3. ケアマネジメントの意義について概説でき、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて列挙できる。</p> <p>4. 高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を理解し、代表的な障害者福祉サービス、権利擁護や成年後見の制度の目的、内容について列挙できる。</p> <p>5. 医行為の考え方、一定の要件の下に介護福祉士等が行う医行為などについて列挙できる。</p>
項目	内容
(1)介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景、目的および動向 ・介護保険制度の仕組みの基本的理解 ・制度を支える組織・団体の機能と役割、財源 ・介護保険制度におけるケアマネジメント
(2)医療との連携とリハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・医行為と介護 ・訪問看護 ・施設における看護と介護の役割・連携 ・リハビリテーションの理念
(3)障害者自立支援制度およびその他制度	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉制度の理念 ・障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要

シラバス

法人名： 社会福祉法人城ヶ崎いこいの里

科目名	介護におけるコミュニケーション技術
目標	<p>●高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取るべきことが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動を理解している。</p>
修了時評価ポイント	<p>1. 共感、受容、傾聴的態度、気づきなど基本的なコミュニケーション上のポイントについて列挙できる。</p> <p>2. 家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職として持つべき視点を列挙できる。</p> <p>3. 言語・視覚・聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意点を列挙できる。</p> <p>4. 記録の機能と重要性に気づき、主要なポイントを列挙できる。</p>
項目	内容
(1)介護におけるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの技法 ・利用者、家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際
(2)介護におけるチームのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、記録、情報伝達 ・コミュニケーションをうながす環境

シラバス

法人名： 社会福祉法人城ヶ崎いこいの里

科 目 名	老化の理解
目 標	●加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、整理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。
修了時評価ポイント	1. 加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化に着目した心理的特徴について列挙できる。 2. 高齢者に多い疾病の種類とその症状や特徴及び治療・生活上の留意点及び高齢者の疾病による症状や訴えについて列挙できる。
項 目	内 容
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・ 老化に伴うからだの変化と日常
(2) 高齢者と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の疾病と生活上の留意点 ・ 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点

シラバス

法人名： 社会福祉法人城ヶ崎いこいの里

科目名	認知症の理解
目標	●介護において認知症を理解する事の必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。
修了時評価ポイント	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方について概説できる。 2. 健康な高齢者の「物忘れ」と認知症による記憶障害の違いについて列挙できる。 3. 認知症の中核症状と行動・心理症状（B P S D）等の基本的特性及びそれに影響する要因を列挙できる。 4. 認知症の心理・行動のポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションのとり方及び介護の原則について列挙できる。また同様に若年性認知症の特性についても列挙できる。 5. 認知症の利用者の健康管理の重要性と留意点、廃用症候群予防について概説できる。 6. 認知症の利用者の生活環境の意義やそのあり方について、主要なキーワードを列挙できる。 7. 認知症の利用者とのコミュニケーション（言語・非言語）の原則、ポイントについて理解でき、具体的な関わり方を概説できる。 8. 家族の気持ちや家族が受けやすいストレスについて列挙できる。
項目	内 容
(1) 認知症を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアの理念 ・ 認知症介護の原則 ・ 最新の認知症ケア
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の概念 ・ 認知症の原因疾患とその病態 ・ 原因疾患別のケアのポイントと健康管理
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ・ 認知症の利用者への対応
(4) 家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症家族介護者の現状の理解 ・ 認知症をもつ人の声、そして家族の声

シラバス

法人名： 社会福祉法人城ヶ崎いこいの里

科 目 名	障害の理解
目 標	●障害の概念と I C F、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。
修了時評価ポイント	1. 障害の概念と I C F について概説でき、各障害の内容・特徴及び障害に応じた社会支援の考え方について列挙できる。 2. 障害の受容のプロセスと基本的な介護の考え方について列挙できる。
項 目	内 容
(1) 障害の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の概念と ICF ・ 障害者福祉の基本理念
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基本的知識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害 ・ 知的障害 ・ 精神障害 ・ 難病
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の理解・障害の受容支援 ・ 障害の受容の理解

シラバス

法人名： 社会福祉法人城ヶ崎いこいの里

科目名	こころとからだのしくみと生活援助技術
目 標	<p>●介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。</p> <p>●尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</p>
修了時評価ポイント	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について列挙できる。 2. 要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則（方法、留意点、その根拠等）について概説でき、生活の中の介護予防及び介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を列挙できる。 3. 利用者の身体の状況に合わせた介護、環境整備についてポイントを列挙できる。 4. 人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて概説できる。 5. 人体の構造や機能が列挙でき、何故行動が起こるのかを概説できる。 6. 家事援助の機能と基本原則について列挙できる。 7. 装うことや整容の意義について解説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行う事ができる。 8. 体位変換と移動・移乗の意味と関連する用具・機能や様々な車いす、杖などの基本的使用方法を概説でき、体位変換と移動・移乗に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 9. 食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が列挙でき、食事に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 10. 入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備や入浴に関連した用具を列挙でき、入浴に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 11. 排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、排泄に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 12. 睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 13. ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携（ボランティアを含む）について列挙できる。

項 目	内 容
(1)介護の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の基本的な考え方 ・重度化予防の視点
(2)介護に関するところのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心理 ・加齢に伴う変化とその心理 ・自己実現と生きがいづくり
(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の名称とはたらき ・運動動作に関する基礎知識 ・神経系に関するからだのしくみ ・バイタルチェック ・映像教材を使用した介護技術の基本学習
(4)生活と家事	<ul style="list-style-type: none"> ・家事と生活の理解 ・家事援助に関する基礎知識と生活支援
(5)快適な居住環境整備と介護	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境整備 ・福祉用具の活用
(6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・整容に関する基礎知識 ・衣類の着脱の介護 ・ベッド等介護器具を使用した介護技術の基本学習 ・映像教材を使用した介護技術の基本学習
(7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・体位・姿勢の基礎知識 ・褥瘡の予防 ・移乗の介護 ・車いすでの移動の介護 ・移動の介護、外出介護 ・ベッド等介護器具を使用した介護技術の基本学習 ・映像教材を使用した介護技術の基本学習
(8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基礎知識 ・食事の生理的な仕組み ・食事の介護 ・口腔ケアの支援技術 ・自助具、補助具等を使用した介護技術の基本学習 ・映像教材を使用した介護技術の基本学習
(9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・清潔保持に関する基礎知識 ・入浴の介護 ・身体の清潔の介護 ・整容の支援技術 ・機械浴等介護器具を使用した介護技術の基本学習 ・映像教材を使用した介護技術の基本学習

項 目	内 容
(10) 排せつに関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・排せつに関する基礎知識 ・排せつの介護 ・ポータブルトイレ等を使用した介護技術の基本学習 ・映像教材を使用した介護技術の基本学習
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠の介護 ・ベッド等介護器具を使用した介護技術の基本学習
(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期ケアに関する基礎知識 ・終末期ケア ・看取りの介護、ターミナルケア
(13) 介護課程の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・介護課程の目的・意義 ・介護課程の展開
(14) 総合生活支援技術演習	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を基にした演習 ・要介護者・家族介護者への援助 ・要支援者への支援

平成26年9月1日現在

シラバス

法人名： 社会福祉法人城ヶ崎いこいの里

科目名	振り返り
目標	●研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。
修了時評価ポイント	
項目	内 容
(1)振り返り	<ul style="list-style-type: none">・研修をとおして学んだこと・根拠に基づく介護についての要点
(2)就業にへの備えと研修修了後における継続的な研修	<ul style="list-style-type: none">・研修修了後の継続した学習・研修修了者の体験発表等